

グループワーク：LIFEの活用方法 と科学的介護の未来

日時：2022年**11月21日(月)**
19:00-20:30 参加無料

Web開催：レクチャーとグループワーク（zoom）

厚生労働省では、科学的に効果が裏付けられた科学的介護を推進しています。介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる科学的介護情報システム（Long-term care Information system For Evidence; LIFE）が導入され始めています。現在は介護保険の中でも通所サービス、入所サービスなど一部で導入されていますが、今後はどうなっていくのでしょうか。

現在LIFEを使っている事業所、導入を検討している事業所、将来的に科学的介護とLIFEがどうなっていくか関心がある方、ビッグデータと在宅医療、在宅ケアがどのように関わっていくか関心がある方、すべての介護保険サービスに関わりある方は必見です。

2回シリーズで今回は厚生労働省老健局老人保健課の長嶺さんからお話を聞きました。LIFEという仕組みや算定の加算を作ったわけです。「ハコ」ができたこと自体は良いことですが、はじまったばかりでまだまだ課題が多いとのことでした。今回はまず、データのフィードバックがどのようにされて来るのかについて長嶺先生からお話して頂きます。また、フィードバックされたときの事業所側での対応の好事例を福祉のよろず屋神内商店の神内さんからお話して頂きます。科学的介護について広い視点で議論し、どの方向に持っていくことが良いのかのアイデアを一緒に考えたいと思います。直接厚労省の方と意見交換できるチャンスです。ぜひご参加ください！

❖対象：（札幌市中央区以外の方も参加できます）
在宅ケア専門職種、患者・家族、市民

❖申し込み **〆切** 2022年**11月18日(金)**

厚生労働省 老健局老人保健課
長嶺 由衣子さん

目的

札幌市中央区の在宅ケアに関わる多専門職種が科学的介護とLIFEについて知識を得て、どんなふうに活用していったら良いか考える基盤とします。

講師自己紹介：長嶺 由衣子さん

厚生労働省 老健局老人保健課

これまで、家庭医・総合診療医として在宅、離島診療、コロナ対応などを現場で行い、公衆衛生・疫学研究者としてビッグデータで研究をしてきました。今年の7月から現職として、介護のデータを現場で本当に役立つものに変えていくべく、奔走しています。前向きに血の通った科学的介護を進めるべく、ご助言いただければと思っています。

プログラム（一部変更になる可能性があります）

- 19:00 あいさつ・趣旨説明
- 19:05 スモールレクチャー：長嶺さん・神内さん
- 19:30 グループワーク
LIFEの活用方法と科学的介護の未来（事業形態ごと）
- 20:05 全体での意見交換
- 20:25 次回案内など
- 20:30 閉会

●申込方法

- ① home.care.mtg@gmail.comへ件名に「中央区在宅ケア連絡会」と入れて、本文に「氏名」と「事業所名」「電話番号」を記載しメールを送ってください。
- ② 返信がありますのでURLをクリックしてGoogleフォームに必要事項を記載して下さい。
- ③ 確認の返信があれば登録完了です。なければootomo-sen@seimeikan.or.jpにご連絡下さい。
- ④ ZoomミーティングのURLに関しては事前にURLをメールで送ります。

・取り扱う個人情報適切に処理します。在宅ケア連絡会の案内を希望される場合には、今後各区在宅ケア連絡会などの案内をします。他に使用することはありません。



お問い合わせ

事務局：社会医療法人 北海道循環器病院 担当 川端毅

TEL 011-563-3911 電子メール t-kawabata@hokujun.or.jp